

秋田市教育委員会
会 議 録

令和2年4月定例会

秋田市教育委員会令和2年4月定例会会議録

- 1 日 時 令和2年4月3日(金曜日)
午後1時30分～午後3時15分
- 2 場 所 5-A会議室
- 3 出席委員 教育長
教育委員
教育委員
教育委員
教育委員
- 4 出席職員 教育次長
教育次長
総務課長
学事課長
学校教育課長
教職員室長
教育研究所長
学校適正配置推進室長
生涯学習室長
明德館事務長
総務課長補佐
総務課副参事
学事課長補佐
学校教育課長補佐
教職員室副参事
学校適正配置推進室副参事
生涯学習室長補佐
太平山自然学習センター副所長
自然科学学習館副館長
中央図書館明德館副参事

がなく、制度上は次の代理者を指名するまでの期間となっている。

私としては、代理者の任期は、おおむね各年度ごとにしたいたいと考えているため、今年度については、これより、高堂委員を教育長職務代理者に指名したいと思う。高堂委員、どうかよろしく願います。

【令和2年3月定例会会議録の承認】

令和2年3月定例会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

教育長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

【付議案件】

議案第5号 令和2年度秋田市の教育について

教育長 議案第5号「令和2年度秋田市の教育について」、事務局から説明願う。

総務課長
学校教育課長
学校適正配置推進室長
学事課長
生涯学習室長
委員

(資料に基づき説明)

資料17ページ「次世代型学校ICT環境の整備」について、大きな予算をつけて動き出すようだが、ICT環境の整備は、新型コロナウイルス感染症が拡大している中で、自宅でも学習ができるようになるために有効であると感じることから、期待している。

現在、どのように動いていて、いつごろ端末を配布するのか教えてほしい。

学事課長 令和3年の3月には、校内LANの整備を完了すること

を目指している。また、小学4～6年生については、プログラミング教育が始まるため、今年度において端末器を優先的に配布したいと考えている。

教育長 ICT環境の整備および端末の配布は、国の経済対策である「GIGAスクール構想」に沿って行われる。この経済対策により、国から、端末1台当たり4万5千円が上限の補助金が出るが、その期間が令和5年度までとなっている。ある程度を目安として、令和5年度までの期間で、整備を進めていきたいという認識でよいか。

学事課長 そのとおりである。

教育長 資料36ページ「子どもの成長段階に応じた読書活動の支援」の「読書の記録帳」については、今年度で3年目になるが、現在の発行部数はどの程度か。

中央図書館明徳館副参事 今年度の発行部数は、2月末現在で、1,400冊程度である。このうち、新規登録者数は、1,400人より若干少なく、昨年度の同内容と比較して若干少ない程度となっている。

教育長 「読書の記録帳」の発行は、子どもが図書館を利用する動機の一つとなっていると考えてよいか。

中央図書館明徳館副参事 そのような考えで間違いない。

委員 最近は、SNSの普及で、子どもたちが短い文章に慣れ、長い文章を読むのが苦手になっているのではないかと心配している。司書にも頑張ってもらいながら、子どもたちが本に接する機会を増やして欲しい。

委員 資料16ページ「コミュニティ・スクールの運営」について、コミュニティ・スクールを1年間実施してみて、どのような成果があったか。

学校教育課長 各小・中学校の管理職および学校運営協議会委員の代表が集まる「コミュニティ・スクール連絡協議会」を設け、各学校の取組について共有した。

学校評議員制度の時の取組から先に進めなかった学校もあったが、情報を共有することで、新たなヒントが得られ、今年度、次の段階に進めるのではないかと感じている。

委員 コミュニティ・スクールは、地域のかたがたも、学校に

関わるができるということ期待していると思われる。
着実に運営を進めて欲しい。

資料18ページ「学校司書配置事業」について、今年度は、
学校司書を22人から25人に増加したということだが、一人
当たり何校程度受け持っているのか。また、全ての小・中
学校に十分に司書が配置されているのか。

教育研究所長 昨年度は、一人あたり3校程度であったが、22人から25
人に増加したことで、今年度については、一人あたり2校
程度となっている。

委員 司書一人が受け持つ学校が減り、担当の学校にあてる時
間が伸びているという認識でよいか。

教育研究所長 その認識で間違いない。

委員 学校訪問で図書館を見た際は、司書によって特徴が出て
いるように感じられ、印象的であった。できるだけ子ども
たちに良書に触れてもらうためにも、学校司書の配置を充
実させてほしい。

委員 「秋田市の教育について」は、どのような形で公表され
るか。

教育長 来週実施予定の秋田市小・中学校長会において、各校の
校長に配布する。

教育委員会定例会の資料として公表はしているか。

総務課長 「秋田市の教育について」は、例年秘密会で行うもので
はないため、定例会資料として、ホームページ上で公表し
ている。

委員 学校訪問では、学級生活支援サポーターの人数を増やし
てほしいという教員の意見があったが、その意見を反映さ
せ、数を増やしていたり、ICT環境の整備および学校統
廃合の問題等、最近話題となっている点についての今後の
方針が書かれていたり、現時点で対応すべきことについて、
可能な限り対応している印象である。

23ページの「秋田市いじめ対策委員会の運営」について、
昨年度、どのような活動をし、どのような提言や意見があ
ったのか。

教育次長 「秋田市いじめ対策委員会」では、「月ごとにいじめが

何件あったか」を報告し、解決に時間のかかっている事案について助言をいただいている。また、いじめ防止リーフレットを見てもらい、本市の取組についての助言をいただいている。

委員 会議は、年何回程度開催しているか。
教育次長 本委員会の定例会は、年3回開催している。

※ 議案第5号については、全員賛成により、議決された。

議案第6号 職員の人事について承認を求める件

教育長 議案第6号「職員の人事について承認を求める件」について、事務局から説明願う。
総務課長 (資料に基づき説明)

※ 議案第6号については、全員賛成により、議決された。

【教育長等の報告】

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応に係る学校等の再開予定等について

教育長 報告(1)「新型コロナウイルス感染症への対応に係る学校等の再開予定等について」、事務局から説明願う。
総務課長 (資料に基づき説明)
委員 学校再開にあたり、家庭での検温を実施するようだが、学校での検温は実施しないのか。
学校教育課長 基本的に自宅で検温してもらい、検温カードに記入し、朝、健康観察とともに提出してもらい、という流れである。家での検温を忘れた場合は、学校で検温をする。
委員 「家での検温を忘れたが実は熱があった」という子どもが紛れている可能性を考えると、学校の玄関等で、かざすだけで検温ができる機械等を使って検温するなどできないかと思う。

教育次長 現在、病院では、患者の顔にかざすだけで検温が出来る検温器が見られて、大変便利である。

検温器の整備も重要であるが、一番大切なのは、家庭との連携であると、秋田市PTA連合会の役員とも確認している。家で検温し、熱がある場合は、登校させないようにしてもらおう。検温を忘れた場合は、速やかに学校で検温をし、熱がない場合は校内に入れる、という段階を踏んでいる。学校に来てから熱が上がった場合も、すぐに迎えに来てもらうよう保護者に話をしている。

委員 万が一、学校で初めて熱があることがわかった子どもがいた場合、別室に案内し、迎えを待ってもらおう等の対応も必要だと思う。

教育長 子どもに熱があった場合や、具合が悪くなった場合は、すぐに保健室で検温をし、子どもを休ませ、保護者に連絡をして迎えに来てもらうという対応をする。この場合の対応については、現在学校が行っている対応を細やかに行っていくことが大切であろう。

委員 1か月ぶりの学校再開ということで、子どもたちも楽しみにしているだろう。教員は、衛生面について、除菌清掃をしたり、洗面所の石けんを確保したり今まで以上に気を遣っていることと思う。毎朝の家庭での検温については、親だけでなく、子ども自身も自覚をして行っていかなければならないという指導を行ってほしい。

現在、秋田県の感染については、県外から来た人について感染が確認されている状況であるので、今まで以上に衛生面に気をつけて欲しい。特に、低学年の子どもたちは、授業を早めに切り上げて手洗いうがいの時間を確保するようなことがあってもよいと思う。首都圏等からの新入生・転入生、教員についても待機の依頼をしており、万全な対応をしていることと思うが、万が一感染者が出た場合は、協力して対応してほしい。部活動についても、久しぶりの

再開であるため、事故のないよう、ゆっくりとスタートしてもらいたい。

学校再開にあたり、大変なこともあったと思うが、この先もみんなで助け合っていければと思う。

委員 万が一感染者が出た場合の各学校での具体的な対応策について、あらかじめ確認し、共有してほしい。

教育長 新型コロナウイルス感染症の影響で、社会全体が大きな危機を迎えている中で、大人だけでなく、子どもにとっても、日常生活における大切なことを学習する時期なのではないかと思う。学校に行かない日も朝起きて熱を測ったり、何かした後に手を洗ったりということを習慣化し、学ぶ機会にしてもらえればと思う。そういった意味を込めての、学校での指導だと思なので、しっかりと指導してほしい。

委員 現在、秋田県では感染事例が9例出ているが、感染経路等も判明しており、感染者をきっちり把握できているので、学校でクラスターが発生したりするような恐れはないという判断をしていることと思う。

一番大切なのは、学校と家庭の協力体制である。この協力体制が崩れてしまうのが一番怖いので、情報共有は当然だが、意識の方向性も一致させてほしい。学校が家庭に何かお願いをする時は、しっかりとした方針を掲げることで、信頼関係につながり、子どもも活発に活動できるようになると思われるので、よろしくをお願いしたい。

マスク着用の励行を働きかけるとあるが、現在、秋田市内でも、マスクが品薄のようである。「マスクがないのに、どうすればいいのか」という具合に信頼関係が崩れては困るので、上手く説明してほしい。

教育次長 先日の秋田市小・中学校長会において、「マスク着用を心がけ、ない場合は作ってほしい」という内容を伝えたが、この内容を伝えてよいかどうかについて、秋田市PTA連合会役員と前もって話し合った。その際、ぜひ伝えてほし

いという話をいただいたが、「マスクを作るよう伝える際には、マスクの作り方もしくは詳しい作り方が掲載されているサイト等を紹介してほしい」という話があったので、学校には、手作りマスクに関する情報も含めながらマスク着用の協力を呼びかけている。

委員 能代市立二ツ井小学校では、地元の婦人会の方々が、児童生徒用のマスクを人数分作り、寄附したという話も聞いている。このような、地域との協力体制も必要であると思う。

委員 国も、小・中学校にはある程度優先的にマスクを配布するという話をしているが、いつになるかはまだ分からないようである。

教育長 マスクについては、まず医療現場から優先的に配布していくようである。

委員 時期的に、県外からの新入生・転入生および教員もいると思う。4月に自宅待機するのは、学習や業務を進めて行く上でも抵抗があると思うが、個別にしっかりと健康状態の確認をとり、登校および出勤に関して無理をしないように伝えてほしい。美郷町役場に採用となる前に感染が発覚した男性について、特に美郷町役場から連絡はしていなかったという報道がされていたので、新規採用職員についても、しっかりと連絡をとるべきであると感じた。

教職員室長 新規採用の教員および講師計52名に電話連絡をし、健康状態を確認し、感染が拡大している県から転入する者については、秋田県に来た日の翌日から2週間自宅待機していただくということで理解をもらい、当該校の校長にも確認をとっている。また、電話連絡の都合上、配属校の校長と連絡が取れていない教員および講師がおり、そのような人については、自宅待機期間にも、校長もしくは本人から電話連絡をとってもらうよう確認している。加えて、「出勤前には必ず健康状態を確認し、無理をしない」ということ

を校長から伝えるよう呼びかけている。

最初の出勤が少し遅れるが、年度の途中からでもスムーズに業務を行えるような体制作りをしている。

教育長 この2週間の待機は、さまざまな遅れは出るものの、県外から来た人およびそれを迎える学校側にとっても安心であり、新入生・転入生および新規採用の教員を心から歓迎できるようにしたいという気持ちを込めた対応である。

教育次長 県外からの新入生・転入生について、学校から2週間の待機をお願いする前に保護者の方が心配して「転校して大丈夫か」と聞いてくるケースもある。一方で「なぜ自分の子どもだけ休まなければならないのか」と抗議する保護者もいる。その際には、県外から来た人およびそれを迎える学校側両方にとっても安心であるということを伝え、理解をいただいている。現在学校では、このような対応の最中であり、来週くらいまで続く見込みである。

委員 以前、ALTが半分程度入替わるという話を聞いたが、新規に海外から来るALTについての対応はどのようになっているか。

教育次長 オーストラリア政府からは、「オーストラリア出身のALTについては、全員帰国させてほしい」という連絡があり、オーストラリア出身のALTについては、全員3月中に帰国した。その他、出身国から同様の要請があった場合には、帰国してもらうことになるだろう。

帰国させる旨の要請がない国出身のALTについては、夏休み中に入替わりが行われるが、出身国で感染が拡大していた場合、帰国させるのには抵抗があり、日本に入国するALTについても、さまざまな制限がつくと思われる。ALTの入替えについては、各自治体ともに、考慮しなければならないことが多数あり、大変であると思われる。

委員 授業に影響が出る可能性はあるか。

教育次長 小学校に優先的にALTを配置するため、中学校に配属

となっているALTを小学校へ配置転換させることはあり得る。それに伴い、中学校では、ALTのいる授業が少なくなる可能性がある。

教育長 十分にALTを配置できない可能性があるが、JETとも十分連絡を取りながら、できるだけALTの数を確保するようにお願いしたい。

※ 新型コロナウイルス感染症への対応に係る学校等の再開予定等については、以上のとおり終了した。

(2) 秋田市立小・中学校における多忙化防止リーフレットについて

教育長 報告(2)「秋田市立小・中学校における多忙化防止リーフレットについて」、事務局から説明願う。

教職員室長 (資料に基づき説明)

教育長 教員の働き方改革については、学校内の理解だけでは、一向に現状が変わらないと説明があったが、そのとおりであると思う。

教員の働き方改革について、秋田市PTA連合会とも連絡をとったとのことだが、何か反応はあったか。

教職員室長 「保護者としては、リーフレットに載っている取組事例だけでなく、自分の子どもが通っている学校の取組事例についても説明願いたい」という話があった。このことについて、4月9日の秋田市立小・中学校長会で、各校長に説明したい。

教育長 各校それぞれ、多くの保護者が集まる機会があるので、その際に、このリーフレットを提示して、各校の取組について説明してほしい。

委員 リーフレットは、とても見やすく、分かりやすいと思う。配布して終わるのではなく、ホームページに掲載するなど、広く周知してもらい、児童生徒、保護者および地域のかたがたにも各校の教員の働き方の現状を理解していただくとともに、これからどのような取組をしていけばよいかを共に考える機会を与えてくれればと思う。

委員 私の子どもが通っている学校では、教員の多忙化防止のための取組について配布物をいただいた。このように周知をしている学校と、そうでない学校があるように思われる。秋田市立小・中学校長会でアナウンスをしてもらうことで、各校の取組がより周知されることを期待している。

委員 「全市共通実践事項」「各校の取組(例)」ともに、カテゴリ別に記載されていて、大変見やすいと思う。多忙化防止対策の視点も明確化されたことで、年度が変わっても、臨機応変に取り組みやすいのではないかと感じた。秋田市PTA連合会とも連絡をとりながら、本リーフレットを完成させたことは、大きな一歩であると思う。本リーフレットを活用しながら、今年度も、教員の多忙化防止に努めてもらえればと思う。

委員 教員は、多数の業務があり、大変であると思う。日本の教員は、世界の中でも多忙であると聞いたことがあるが、リーフレットを見ると、そのことにも納得できる。何か抜本的な解決策はないのかと思う。

教育長 教員の多忙化防止に向けた教員定数の改善については、全国都市教育長協議会や中核市教育長会でも、最優先事項として国に要望をしているところである。引き続き、教員の数を増やしてもらえるよう、要望を続けていきたい。

※ 秋田市立小・中学校における多忙化防止リーフレットについては、以上のとおり終了した。

【その他、今後の日程についての報告】

総務課長補佐 5月定例会の日程についてお知らせする。定例会は、原則毎月第4木曜日としているが、5月定例会については、教育長が他の公務と重なる可能性があることから日程を調整中である。日程が決定次第、お知らせする。

教育長 5月定例会については、日程が決定次第、連絡をお願いする。委員の皆様、よろしく願います。

午後3時15分閉会